

アロマスプレーでより快適に

城北高校 203HR 飯森瑛子 岩本遥奈 多田小陽 新見勇稀 宮崎太志

快適なマスク生活を多くの人に送ってもらおう

SDGs目標9

産業と技術革新の基盤を作ろう

9 産業と技術革新の 基盤をつくらう



理由

コロナウイルスの影響でマスク生活を強いられている中でマスク生活に苦しんでいる人がたくさんいることを知ったから。

植物を使用しているアロマは、体にも環境にもいいと思ったから。

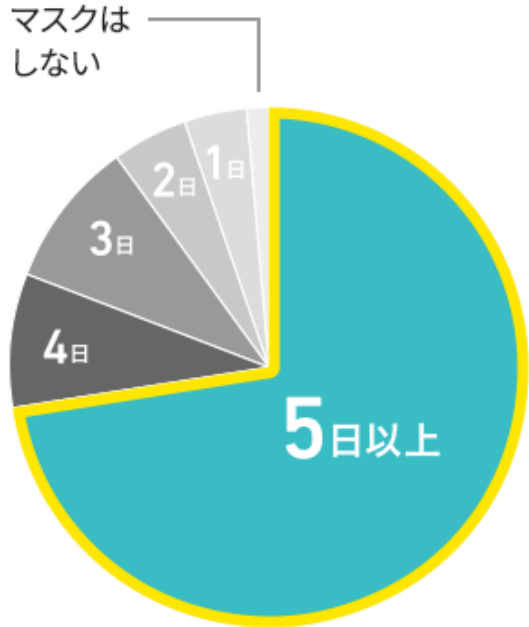
コラボ先

FULFUL 増原美幸さん

開発期間 7/24

Q.

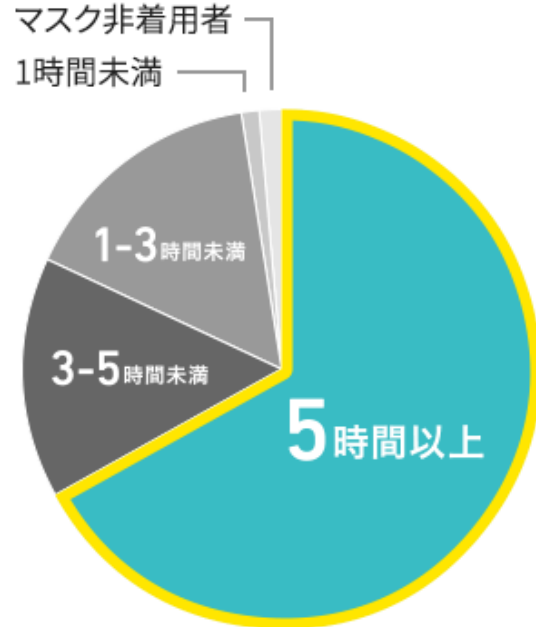
1週間に何日マスクを着用しますか？



5日以上が **72.5%**

Q.

1日、何時間くらいマスクを着用しますか？



5時間以上が **67.2%**

マスク生活での悩み

- マスクにこもる臭いが気になる
- 息苦しい etc.

<理由>

コロナ禍の負担を少しでも減らいたい
マスク生活を心地よく過ごしてほしい



マスクに匂いをつける

達成目標

すべての人に好まれやすい香りにする
 低コストで作れるようにする
 SDGs目標に貢献した環境に良い活動にする
 需要があるものを作る
 学校である探求発表までに販売する



アロマスプレー

FULFULの増原美幸さんとの活動

私たちはマスク生活を快適にするためのマスクスプレーを環境に良いハーブを使うことにした。

そこで、そのアロマスプレーを作るためにFULFULというアロマの講習を開講している増原美幸さんに手伝ってもらった。

<活動内容>

- アロマスプレーの試作
- 材料の買い出し
- 商品の作成
- 商品の名付け
- ラベルの作成
- 商品詳細内容の作成
- 販売方法及び販売場所の決定
- 価格の設定



Polaris
aroma spray

JOHOKU

結果

達成目標について

- 植物をメインに作るので、環境にやさしい。
- 材料が少なく、低コストである。
- SDGsにとっても貢献しているとは言い切れない。
- 香りに持続性がないため、リピーターが少ない。
- 予定の作成があまく、販売までできなかった。
- 需要があるのかわからなかった。

訂正するべき点

- スプレーボトルを使い捨てさせない工夫も考えるべき。
- アンケートなどをとるべきだ。
- 商品についての知識をつけ、短所を考慮しつつ作るべきだ。
- 環境のほかにも、体に配慮すべきだ。

